

時期	幼児	小中学校	高校	大学・社会人
激変する社会 少子化 グローバル化 格差・貧困 情報化 SNS、IoT、AI等	激変社会に対応し、能動的に生きていくために必要な学びの変革			
	生涯にわたる人格形成の基礎となる幼児期の学びのあり方は。また、その実現のためには何が必要か。	激変社会を生きていくために必要な能力はどのようなものか。また、そのような能力を育む教育のあり方はどのようなものか。 (学力向上、探究型の学び、グローバル、ICT、キャリア教育、地域・社会につながる学び、高校の規模の適正化と学びの改革 等)		次代を担う有為な人材を県内で育成し定着させるため、高等教育機関の果たす役割は。また、県の支援はどうあるべきか。
	長野県らしいインクルーシブな教育システムは「子どもにとっての学び」の視点からどうあるべきか。(特別支援教育の充実)			
学びの変革	健康長寿で安全安心な長野県を維持、向上させていくための学びはどうあるべきか。 (体力・運動習慣、健康教育、性教育、食育、防災教育、人権教育 等)			
	地域で学び続けること。また、その学びが地域に活かされるには何が必要か。 (公民館、図書館、博物館等) 働きながらさらに学び続けることを可能にするにはどういった仕組みが必要か			
学びの保障	誰もが学び続けることができる体制の整備			
	困難を抱える子どもたちに継続的かつ総合的な支援を行うためには何が必要か。 (貧困、発達障がい、虐待、いじめ、不登校、外国籍等)			
学びの基盤	少子化が進む中、中山間地域における子どもたちの学びをどう保障し水準を確保していくか。			
	「学びの変革」「学びの保障」を支える基盤をどのように構築していくか。 (コンプライアンス、教員の資質向上、教員の多忙解消、教育施設整備、学校・家庭・地域の連携 等)			

